

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								2.6
1 音環境		1.8	0.15					1.8
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		1.0	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	1.00					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.1	0.35					2.1
2.1 室温制御		2.7	0.50					
1 室温		2.0	0.44					
2 外皮性能	窓システム SC:0.478、U=4.15(W/m2K)程度、外壁・その他:U=0.626(W/m2K)程度	4.0	0.21					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		2.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.51					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策		-	-					
1 昼光制御		-	-					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		3.0	0.49					
4 空気質環境		3.5	0.25					3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	建築材料(告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		3.0	0.40					3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観	売場の天井高さ:3.4m以上	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	売場:床セラミックタイルt10、壁AEP塗装(PBt12.5)、天井化粧PBt9.5	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS(C)、汚水排水及び雑排水VP(B)	4.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.6
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.6	0.30			
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.094	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-		
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34		-	3.0	
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.7	
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.894	4.0	0.11		-	4.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11		-	3.0	
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.70 住宅(専有部) -	4.9	0.56		-	4.9	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.70、LED照明設備及びヒートポンプ給湯器を採用	4.9	1.00		-		
集合住宅の評価(3c)			[Cross-hatch pattern]	-		-		
4 効率的運用			3.0	0.22		-	3.0	
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-		
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-		
集合住宅の評価			[Cross-hatch pattern]	-		-		
4.1 モニタリング			[Cross-hatch pattern]	-		-		
4.2 運用管理体制			[Cross-hatch pattern]	-		-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0	
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4	
1.1 節水		自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-		
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-		
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材	3.0	0.20		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している	4.0	0.20		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-		
1 消火剤			-	-		-		
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-		
3 冷媒			3.0	0.50		-		
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.8	
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=74%	4.0	0.33		-	4.0	
2 地域環境への配慮			4.1	0.33		-	4.1	
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用なし	5.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善		隣棟間隔指標Rw=6.21%、地表面対策面積率=56.49%	4.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-		
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-		
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミの種類や量を推計、室内にゴミの分別回収ボックス等を計画	5.0	0.25		-		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-		
1 騒音			3.0	1.00		-		
2 振動			-	-		-		
3 悪臭			-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-		
1 風害の抑制			3.0	0.70		-		
2 砂塵の抑制			[Cross-hatch pattern]	-		-		
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		JIS照度基準等の照明基準を参考に、照明目的にあった照度を設定しており、また、深夜・早朝等の調光、減灯、消灯を計画している	5.0	0.70		-		
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-		